

ACROS

ACROS Fukuoka's Monthly Information (Classical Music, Culture and more) Magazine

7
2010 July

M
usic

ベルリン交響楽団

C
ulture

伝統の技

E
vent

アクロス福岡
イベントスケジュール

Chopin Year Series ショパン・イヤー シリーズ II ベルリン交響楽団



写真提供: サ・シンフォニーホール



チケット発売情報

アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112 (10:00~18:00)

7月21日(水) 19:00	九州交響楽団 第302回定期演奏会
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥5,000 A:¥4,000 B:¥3,500 学生:¥1,500 指揮/宮本文昭 オーボエ/荒絵理子 曲目/リヒャルト・シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」 op.20 他 (Pコード 100-176)	
7月22日(木) 19:00	ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノリサイタル
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥5,000 学生:¥1,000 (学生券は当日指定券と引換 ※要学生証) Sベア:¥10,000 曲目/フォーレ:夜想曲 第11番 嬰へ短調 op.104-1 ショパン:バラード 全曲 他 (Pコード 100-070)	
7月26日(月) 19:00	第44回 九州サマー・フェスティバル 第1夜
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥4,000 S親子券:¥5,000 (親1人・子1人<お子様追加1人¥1,500>) A:¥3,000 学生:¥1,500 (入場時要学生証) 指揮/鈴木織衛 管弦楽/九州交響楽団 合唱/NHK福岡児童合唱団MIRAI 合唱指揮/大庭尋子 曲目/早川正昭:海の日「祝典曲」 他 (Pコード 105-088)	

7月28日(水) 12:00	アクロス・ランチタイムコンサート vol.22 スウィングするリズムに哀愁のメロディ ～夏のフレンチ・スウィング・ジャズ～
会 福岡シンフォニーホール 料 ¥1,000 (全席自由) 出演/シ・デ・デッセ・スウィング(ギタートリオ) 法田勇虫(ギター) 幅しげみ(ピアノ) Yu-Ma(ヴァイオリン) 曲目/D. エリントン:スウィングしなけりゃ意味がない ロシア民謡:黒い鐘 ラインハルト:ヌアージュ 他 (Pコード 346-471)	
8月1日(日) 15:00	青少年のための一万人コンサート ～子どものための指定席(I)～
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥1,500 A:¥1,000 (大人・子ども同一料金) 指揮/船橋洋介 管弦楽/九州交響楽団 テーマ/オーケストラ大研究! 弦楽器の世界 曲目/モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジーク メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 第1楽章 他 (Pコード 346-478)	

6月22日(火) 発売

8月11日(水) ①11:00 ②14:00	アクロスちびっこコンサート こどものためのオペラ「泣いた赤鬼」
会 イベントホール 料 子ども(3歳～小学生まで):¥500 大人(中学生以上):¥1,500 (全席自由) ※2歳以下無料 指揮/永野哲 演出/唐谷裕子 出演/西日本オペラ協会「コンセル・ビエール」 他 (Pコード 108-725)	
9月18日(土) 16:00	ウィーンの森 Bühneバーデン市劇場「ラ・ボエーム」
会 福岡シンフォニーホール 料 GS:¥11,000 S:¥9,000 A:¥7,000 B:¥5,000 C:¥3,000 (学生券¥1,500) 演目/ブッチェーニ:歌劇「ラ・ボエーム」 (Pコード 346-482)	
9月19日(日) ①18:00 20日(月・祝) ②15:30	アクロス・クラシックふえすた2010
会 福岡シンフォニーホール 料 ¥1,000 (全席自由) ※小学生以下は無料、A・B公演通し券 ① 九州管楽合奏団 九管ポップス vs エリック・ミヤシロ、聴衆を魅了する驚異のハイターン! ② ゴールド・カルテット 輝きを放つ、弦奏の響きと華麗なるソリストたちの協演 (Pコード 346-483)	

10月1日(金) 18:30	西日本オペラ協会「コンセル・ビエール」公演 ドニゼッティ:歌劇「愛の妙薬」
会 福岡シンフォニーホール 料 指定席(1階):¥5,000 自由席(2・3階):¥4,000 学生席(3階):¥2,000 指揮/奥村哲也 演出/松本重孝 管弦楽/九州交響楽団 (Pコード 346-485)	
10月15日(金) 19:00	ヴッパータール交響楽団
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥8,000 A:¥6,000 B:¥4,000 (学生券¥2,000) 指揮/上岡敏之 曲目/(オール・ワーグナー・プログラム) 序曲「ファウスト」、ジークフリート牧歌 楽劇「ニーベルングの指環」ハイライト (Pコード 346-487)	
10月21日(木) 19:00	ラファウ・ブレハッチ ピアノリサイタル
会 福岡シンフォニーホール 料 S:¥6,000 A:¥4,500 B:¥3,000 (学生券¥1,500) 曲目/(オール・ショパン・プログラム) バラード 第2番 へ長調 op.38 3つのワルツ op.34 他 (Pコード 346-488)	

お問い合わせ／交通アクセス

文化観光情報ひろば (10:00~18:00)

092-725-9100

アクロス福岡チケットセンター(友の会)
(10:00~18:00)

092-725-9112

施設利用お問い合わせ (10:00~18:00)

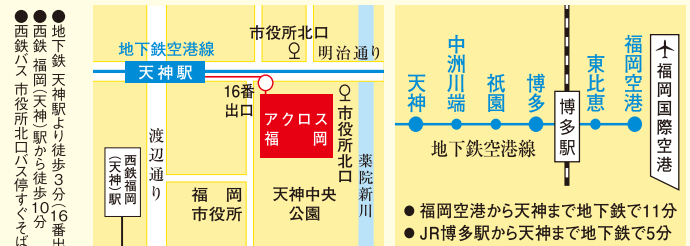
092-725-9113

ホームページ

<http://www.acros.or.jp>

携帯サイト

コチラの
QRコードへ
ぜひアクセス
してください



アクロス福岡へお越しの際は公共の交通機関をご利用ください。



住まいのことなら、何でもおまかせ。



一時代を画したブーニンが、
21世紀のいま、新たにショパンに挑む！

Chopin Year Series II
ショパン・イヤー シリーズ II

ベルリン交響楽団



写真提供：ザ・シンフォニーホール



写真提供：ザ・シンフォニーホール

聴衆の皆さんへ

2010年、今年は年明け早々から世界中のマスコミが様々に趣向を凝らした企画で「ショパンイヤー」を放映・掲載、店頭には印刷物やCDと並んでショパングッズまで登場。ショパン像が語られず、ショパンの曲が流れない日は1日足りともないのではないのでしょうか？

昨日はパリ、今日はニューヨーク、明日は福岡（笑）と大忙しのショパンも気の毒ですが、そんな食傷気味の皆さんの前でショパンを弾く私も辛いです（泣）。

ところで、《ショパン生誕200年》におされ、少し影が薄いような気がしてとても残念ですが、今年はシューマン生誕200年でもあります。個人的にはショパンに負けず劣らずその存在が大きいシューマン。'83年のロン＝ティボー国際コンクールのプログラムのひとつで弾いた《クライスレリアーナ》など、私にとって生涯弾き続けていきたい曲の一つです。

福岡シンフォニーホールでは1999年にオール・ショパン・プログラム、2002年にシューベルト、リスト、プーランク、2005年には再びオール・ショパン・プログラム、そして2008年にはバッハ、スカルラッティ、シューマン、メンデルスゾーン、ドビュッシー、ショパンと色々なプログラムを演奏させていただきました。

今回は福岡シンフォニーホールでは初めてオーケストラとの共演、ショパンのピアノ協奏曲第1番をベルリン交響楽団と演奏致します。

100人のピアニストが居れば100の演奏があって当然ですが、ショパンの意図した解釈・曲想に最も近い“私のショパン”を、ショパンコンクール優勝25周年記念にも当たる今年、福岡の皆さんにも楽しんで頂ければ幸いです。

2010年5月16日ドイツにて
スタニスラフ・ブーニン

Stanislaw Bunin

PROFILE

スタニスラフ・ブーニン (Stanislaw Bunin)

'66年モスクワ生まれ。'83年、史上最年少の僅か17才でロン＝ティボー国際コンクール優勝。続いて、'85年に第11回ショパンコンクールで優勝。併せてコンチェルト賞とポロネーズ賞を獲得。これを機にヨーロッパ及び日本で本格的な演奏活動を開始、「ブーニン現象」と呼ばれる社会現象を巻き起こす。2006年11月には日本デビュー20周年記念ツアーを全国主要都市で開催。2009年ワルシャワ国立フィルとの日本ツアーも大成功に終わる。



ショパンが15歳の時にオルガンを弾いていたヴィジトキ教会（ポーランド）にて

2010年はショパン生誕200年。そろそろ耳にタコが出来るぐらい繰り返し聴かされている言葉かもしれない。しかし、改めてショパンの作品をじっくり聴いてみると、その魅力の多彩さを知らされることになる。つい先日も中国人として初めてショパン国際ピアノ・コンクールに優勝（2000年）したユン・デ・リの演奏会を聴いたが、コンクール優勝から10年経つと、演奏家自身の解釈も深まり、同じ演奏家によるショパンでも印象がとて違う。その音楽性を突き詰めて行けば行くほど、新たな姿を見せる。それがショパンの音楽のようだ。

さて、ユン・デ・リ優勝の15年前、1985年のショパン国際ピアノ・コンクールで優勝したロシア出身のスタニスラフ・ブーニンが7月のアクロスに登場する。ブーニンが優勝した年は非常にレベルが高く、ラフォレ、ルイサダ、小山実稚恵など、現役トップクラスのピアニストが入賞している。

NHKがコンクール直後にドキュメンタリーを送ったこともあり、優勝者ブーニンは日本でも熱狂的な歓迎を受けたことを思い出す。それから25年経ち、すっかり円熟したピアニストに成長したブーニン。彼の演奏はいまこそ聴かれるべきなのである。

そのブーニンと共演するのが、リオール・シャンバダール指揮のベルリン交響楽団。ベルリンには数多くのプロフェッショナルなオーケストラが存在するが、このベルリン交響楽団は1966年に旧・西ベルリンのオーケストラとして誕生し、市民に愛されてきた。シャンバダール（1950年生まれ）は、1997年からこのオーケストラの首席指揮者を務めており、すでに13年の長きに亘って音楽的な繋がりを持っていることになる。長期政権というのは指揮者の場合でも良い面と悪い面があるのだが、シャンバダールとベルリン交響楽団の場合、年々その音楽的な密度を高めて来ており、今回の演奏会でも充実した音楽を楽しめるはずだ。

その演奏曲目は、まずショパンのピアノ協奏曲第1番、そしてベートーヴェンの交響曲第3番「英雄」である。ショパンがポーランドを離れる直前に書き初演したピアノ協奏曲はショパンの天才性を良く表現した作品。ベートーヴェンの「英雄」もまた若き作曲家がその才能をジャンプアップさせた意欲的な作品だ。すでにベテランと言えるブーニンとシャンバダールが、その意欲的な音楽に真正面から向き合っ、名演が生まれることを期待したい。

（音楽ジャーナリスト・片桐卓也）

かたぎり たくや

1956年福島県生まれ。音楽ジャーナリストとして「音楽の友」「モーストリー・クラシック」誌などに執筆を続けるほか、NHK・FM、J-WAVEなどラジオでもクラシック情報を発信している。

B e r l i n e r S y m p h o n i k e r

お気に入りの

1枚

ショパン：ピアノ協奏曲 第1番、第2番



演奏
ダン・タイ・ソン (フォルテピアノ)、
ブリュッヘン&18世紀オーケストラ
レーベル名
NIFC
CD番号
NIFCCD004

ご紹介したCDは、キャナルシティ店をはじめ、HMV各店でご注文いただけます。
HMVキャナルシティ店
TEL 092-271-9181

今年（2010年）は、ショパン生誕200年の節目の年。CDも多数発売されていますが、そんな中でも今回は、ピアノ協奏曲の注目盤をご紹介します。

第10回ショパン・コンクールの覇者であり、日本でも人気の高いピアニスト、ダン・タイ・ソンが、ショパン存命時の1849年製エラール・ピアノを弾いた録音で、古楽器界の名匠ブリュッヘン&18

世紀オーケストラとの共演ということもあって、リリース時には大きな話題となりました。

現代のピアノからは決して引き出せない、エラールならではの素朴で美しい音色は新鮮なもの。ブリュッヘンの力のこもった指揮も聴き応えがあり、第1番前奏部分の重たく陰りを帯びた響きなど、得がたい魅力があります。

2005～2006年のライブ録音。

PROFILE

杉浦 元樹
（すぎうら もとき）

1972年大阪府生まれ。現在、音楽・映像ソフトの専門店、HMVのマーチャンダイザーとして、各店舗におけるクラシックCD・DVDの販売サポート等を行っている。クラシック畑一筋、レコード業界16年目。

ベルリン交響楽団

2010年7月9日（金）19:00開演
福岡シンフォニーホール

【指揮】リオール・シャンバダール

【ピアノ】スタニスラフ・ブーニン

■曲目 ショパン：ピアノ協奏曲 第1番
ベートーヴェン：交響曲 第3番「英雄」

■入場料 全席11,000円
A席8,000円／B席6,000円
C席4,000円（学生券2,000円）
※チケットは完売いたしました。

■お問い合わせ
アクロス福岡チケットセンター（2F）
TEL 092-725-9112

指揮者によって違う音楽の楽しみ その4

究極の指揮者像は、「マエストロが居てくれるだけでいい」という感覚に楽員たちがなれる指揮者です。そこにはオーケストラと指揮者との間に絶大な信頼関係が不可欠ですが、それさえあればリハーサルにも言葉は必要ないほどです。ここまでくるとほとんど神の領域なのですが、私の長い経験の中でいえば「ジャン・フルネ」というフランスの指揮者がそうでした。

1913年4月14日にフランスのルーアンに生まれ、2008年11月3日にオランダのヒルヴェルスムの自宅で95歳の生涯を閉じたフルネは、1958年に初来日しドビュッシーの歌劇「ペレアスとメリザンド」の日本初演を行い(オケは日本フィル)、それを契機にN響などにも客演していますが、1978年に東京都交響楽団(都響)が招聘して以来、定期的に都響を指揮するようになり、フランス音



マエストロ：ジャン・フルネと筆者(1992年 サントリーホールにて)

楽を中心に感動的な名演を聴かせてくれた大指揮者です。

フルネとの初の出会いは、私がまだ都響のコントラバス奏者だった1978年のことでした。ダンディで美しい白髪が印象的な64歳のマエストロがリハーサル場に姿を見せた時は緊張が走りましたが、静かに棒が下ろされ、ベルリオーズの「幻想交響曲」が開始された瞬間、自分の耳を疑いました。出だしの木管楽器のイントロに続く弦楽器が、それまで一度も味わったことがない絶妙なピアノシモで奏で始めたからです。マエストロは一言も発しないのにすでに別世界にでもいるような気分になり、まさに音の魔術師といった感じでした。

事実、第2楽章の「舞踏会」に至るまでの序奏のドラマティックな展開や、それと対照的なワルツの優雅な調べ、第3楽章の牧童が吹く笛の音ののどかな光景と嵐の場面の凄まじいばかりの迫力、第4楽章の金管楽器が咆哮する有名な「断頭台への行進」や最終楽章の「魔女の夜宴の夢=魔女のロンド」も圧倒的な感動の連続でした。

虚飾を排した無駄のない棒さばき、的確な表現の指示、微動だにしないテンポ感、体内に根付いているかのようなリズム感等々、繰り広げられる音楽が躍動する様は、経験した者にしか分かりません。音楽家冥利に尽きるとはこのことで、あの時ほどプレーヤーに生まれ

てきた幸せを感じたことはありませんでした。

その7年後に経営者の道を歩むことになった私は、演奏家としては決して長くない付き合いでしたが、経営者になってからは間近にマエストロに接し多くのことを学びました。中でもドビュッシーの不朽の名作「牧神の午後への前奏曲」の練習は忘れられません。わずか10分足らずのこの曲にしばしば2時間もの練習を費やすフルネでしたが、「良い音楽を奏でることこそが音楽家の良心なのだ」と意に介する風もなく、楽員との間に築かれた堅固な信頼関係を信じきっている様子でした。実際、フルネが要求する音楽を楽員たちが奏で続けていった結果、艶と香りに溢れた都響ならではのサウンドが生まれていったのです。それはまさに「音楽には美しい醜いもない。ただ伝えたいメッセージを的確に表現することだ」と語ったロストロポーヴィチの精神の実践そのものだったように感じています。

(九州交響楽団事務局長 今村 晃)

PROFILE

いまむら あきら

東京都交響楽団のコントラバス首席奏者として活躍した後、都響楽団主幹に転身、経営者として海外公演などの企画制作を担う。2004年より九響の事務局長に就任。

We love 音楽 ♪ Vol.50

福岡チャイコフスキー管弦楽団は、演奏対象をチャイコフスキーの曲に絞って活動するアマチュアオーケストラです。福岡県内の市民オーケストラや大学オーケストラの関係者など、約70名が参加しています。年に1回のペースで演奏会を開催していますが、活動は1年のうち約半年間で、月に2回程度の練習を行います。なお、演奏会ごとにメンバーを募集しなおす形式を取っている点が、他の通

福岡チャイコフスキー管弦楽団 代表 松川 高士

年で活動する団体と異なるかと思われます。2008年より、チャイコフスキーの交響曲を第1番から順に演奏していますが、その他にスラブ行進曲・幻想序曲「ロメオとジュリエット」・バイオリン協奏曲を取り上げました。来る2010年9月23日(秋分の日)には、「ももちパレス」にて第3回演奏会を開催いたします。曲目は交響曲第3番と組曲「白鳥の湖」です。公演を通じて、作曲家や作品に対するブ

レイヤーの理解が深まること、聴衆の皆様にはチャイコフスキーの新たな魅力が伝わることを願っています。



福岡チャイコフスキー管弦楽団
<http://homepage2.nifty.com/mats/>



◀ 中からの明りを幻想的に映し出す夜のエララネードホール

アジア地域にスポットを当て、各国の「クラシック音楽の今」をシリーズでお届けします。今回はシンガポール交響楽団の藤田英大さんによる連載最終回です。

音楽で巡る アジア シンガポール編 4

空軍基地と書いたが、シンガポールは18歳ぐらいの男性に向けて2年の徴兵があり、建国記念日は大々的に軍事パレードが行われるなど、軍事国家を目の当たりにする機会が少なくない。シンガポール政府に対する軍事や政治について賛否を唱えるつもりはさらさら無いが、平和ボケした我々日本人にとって少々信じられない現実がある。管打楽器を専門にやっている人達は軍隊の吹奏楽に配属される事が多く、続ける事が出来るが、ヴァイオリンやピアノ等のプロを志す人にとって、この2年というのは凄く難しい期間になるであろう。そうだとしたら、前に書いたシンガポール政府が言う「向こう10〜20年を目標に国

晴れと雨の差がはっきりとしてくるこの時期(4月〜5月)、シンガポール交響楽団はいよいよシーズン(7月〜翌年5月)の終盤を迎える。特に5月は早朝4時頃になると雷鳴が鳴り響き、乾季への前奏曲を奏でているようだ。と、ゲーテの詩のようにカッコよく書きたいところだが、その雷鳴が半端じゃない。一発「ドッカーン!」と鳴ると同時にドラム缶を引っくり返したかのような雨粒が落ちてくる。その音が凄まじく、近所の空軍基地がとうとう爆撃されたかと錯覚を覚えるほど。ポルカ「雷鳴と電光」の作曲家であるJ. シュトラウスが雷鳴に対して受けただろう印象とはちよつと違うような気がする(と信じたい)。

PROFILE

ふじた ひでひろ

東京都出身。11歳よりチューバを始める。日本管打楽器コンクールをはじめ、ハンガリーやオーストラリア、韓国等の国内外コンクールにて入賞を果たす。2006年と2009年にはソロアルバムをリリースし、好評を博す。クラシック以外での活動も多く、ジャズユニット「Natural Senility」を結成、シンガーソングライターのサポート等、チューバの世界を広げている。2009年よりシンガポール交響楽団首席チューバ奏者に就任。

ホームページ：http://park21.wakwak.com/~hidetuba/



◀ 師匠が来星



▶ ヒンズー寺院

民へ西洋文化の更なる浸透を」という話と矛盾して聞こえないだろうか。しかし、これから兵役へ行く若者達を見るとあまり危機感のない事を感じていないように、日本との価値観の違いを感じさせられる。

シンガポールは音に対しての価値観も違う。ポルカ「雷鳴と電光」の話だけでなく、シンガポール国民が演奏した「雷鳴と電光」を聞いたなら良い意味でも悪い意味でも凄く演奏になる事は間違いないであろう。チューバを部屋で練習すると近所から苦情が来るが、夜の10時過ぎにも関わらずに窓を開けていると酷いピアノの練習が聞こえ、窓を開け放った部屋からは深夜に赤子が泣き叫ぶ声に対して怒鳴る親の声が半端じゃなくなるさい。朝6時には子供が履く「キュッキュ」と鳴るサンダル音が目覚まし代わりになる。電車の中の携帯電話での通話は黙認されているし、ラジオや携帯ゲームをイヤホン無しに聞く人も多い。その中で、人種によって聞く音楽が全然違うのはとても興味深い。

でも、シンガポールは優先席では殆どの人が座らないし、妊婦や老人に対して席を譲るといった優しい一面もある。住み易い国なんだし、これでもいい国「シンガポール」。ぜひ2〜3年に1度でもいいですから足を運んでみては？

(藤田 英大)

CULTURE

アクロス・文化であい塾
癒しの森を舞台に
～森林セラピーとは～

7/3 土 14:00～15:30

会場 セミナー室 2
受講料 500円
定員 先着70名(要事前申込)
講師 吉弘拓生(うきは市農林・観光課)

今話題の森林セラピーの
魅力を伝えます

森林浴から一歩進んだ今注目の「森林セラピー」。癒しのまち「森林セラピー基地」は全国で増え始め、福岡県内に3か所、九州・沖縄を合わせると9か所が誕生しています。多様なセラピーがある中、「森林セラピーとは？」という素朴な疑問に答えます。癒しの森を舞台にした新しいまちづくり、森林セラピーが持つ魅力について、講師が林業現場を学びきっかけになったラジオDJ時代の話を変えながら楽しくご紹介します。



CULTURE

小石原焼
皿山窯元五人展

7/15 木 ～18 日 10:00～18:00(最終日は16:00まで)

会場 匠ギャラリー
入場料 無料
主催者 小石原焼皿山若手作家

若手作家による伝統美

よるこび 陶の郷、小石原焼発祥地皿山の若手作家5人による作品展です。昔から伝わる焼物にまつわる祭りを今でも受け継ぎ、窯元同士の交流を深め、小石原焼の伝統技法を継承しながら新たな作風へのチャレンジを行っています。現代の生活空間を華麗に演出する日常品から装飾品にいたる作品の数々約500点を展示販売します。期間中、ロクロ実演を行います。



CULTURE

アクロス福岡・夏休み子ども企画
～科学のふしぎを楽しもう!～
サイエンス体験フェスタ

7/17 土 ～22 木 10:00～18:00

会場 交流ギャラリー
入場料 無料
(ワークショップは要事前申込／材料費は別途要)

科学っておもしろい!
楽しみながら発見しよう

科学のおもしろさを実際に体験して感じてもらう、参加体験型の楽しいイベントを開催します。ロボットや科学のワークショップの他、福岡県で開発されたユニークなロボットの展示や科学館・文化施設の夏休みのイベント情報も紹介します。

ロボット体験
7/17(土) ロボット工作教室&デモンストレーション
7/18(日) ロボット相撲の体験操縦&デモンストレーション
☆対話ができるロボット等の展示

科学体験
7/19(月・祝)・21(水)科学教室「科学捜査 犯人は誰だ」
7/20(火)・22(木)「科学工作教室&サイエンスショー」
☆バレーンアートの展示



ACROS FUKUOKA PICK UP EVENT

アクロス福岡ピックアップイベント

MUSIC

ジャン＝マルク・ルイサダ
ピアノリサイタル

7/22 木 19:00開演

会場 福岡シンフォニーホール
入場料 S:6,000円 A:5,000円
学生:1,000円(高校生以下、高校生以上学生証) Sヘア:10,000円
曲目 フォーレ:夜想曲 第11番 嬰へ短調 Op.104-1
夜想曲 第2番 口長調 Op.33-2
夜想曲 第6番 変ニ長調 Op.63
ショパン:バラード全曲 ほか

ショパン200年の歴史を
巨匠ルイサダの演奏でご堪能ください

1985年のショパンコンクール入賞以来、世界各地で演奏を行うルイサダは、NHKスーパーピアノ・レッスン・ショパン編に講師として出演、それが大好評となり日本でも抜群の知名度を誇る人気ピアニストです。「舟歌&幻想ポロネーズショパン名演集」等のCDがレコード芸術誌で同誌特選盤に選定されるなど、ショパンといえばルイサダ!です。今回はショパン生誕200年を記念してバラード全曲を軸にすえたプログラム。フランスのロマンティズムを受け継ぐ巨匠の演奏を存分にお楽しみください!



MUSIC

第44回
九州サマー・フェスティバル 第1夜
(子どもにやさしいまちづくりネットワーク支援コンサート)

7/26 月 19:00開演

会場 福岡シンフォニーホール
入場料 S:4,000円 A:3,000円 学生:1,500円(要学生証)
S親子:5,000円(親1人・子1人(お子様追加1人1,500円))
出演 指揮:鈴木織衛 管弦楽:九州交響楽団
合唱:NHK福岡児童合唱団MIRAI
合唱指揮:大庭尋子
曲目 早川正昭:海の日「祝典曲」 ほか

福岡の子ども達と九響による
「海と水」の音楽をどうぞ!

九州・福岡は音楽界で活躍する多くのアーティストを送り出しています。その彼らと九州交響楽団とのコラボレーションが「九州サマー・フェスティバル」です。昭和42年8月に地元出身の音楽家達をもっと応援しようと第一回が開催されて以来、44回を迎えた今年は、「子どもにやさしいまちづくり」の支援と「海の日」にちなんだコンサート。福岡の未来を担う子ども達と九州交響楽団が「海と水」をテーマに演奏します。「我は海の子」「浜辺の歌」など皆様ご存知の懐かしい歌の数々と一緒に歌いませんか。



MUSIC

アクロス・ランチタイムコンサートvol.22
スウィングするリズムに哀愁のメロディ
～夏のフレンチ・スウィング・ジャズ～

7/28 水 12:00開演

会場 福岡シンフォニーホール
入場料 1,000円(全席自由)
出演 シ・デ・デッセ・スウィング(ギタートリオ)
法田勇虫(ギター)、幅しげみ(ピアノ)
Yu-Ma(ヴァイオリン)
曲目 D.エリントン:スウィングしなけりや意味がない
ロシア民謡:黒い瞳、ラインハルト:ヌアージュ ほか

ヨーロッパの民族音楽と
スウィング・ジャズの刺激的な出会い

フレンチ・スウィングはアメリカンジャズのような大編成のビッグバンドとは違い、ヨーロッパ内を移動しながら暮らした旅楽士たちが工夫を施して作った独特のギター「マカフェリ」を用い小編成で演奏します。今回はギタートリオ界の新星「シ・デ・デッセ・スウィング」にヴァイオリンやピアノが加わりステージを盛り上げます。甘い音色、スウィングするリズム、哀愁に満ちたメロディに包まれて「ヨーロッパのカフェで過ごすひととき」をアクロス福岡でぜひ体感してください!



シ・デ・デッセ・スウィング

INFORMATION

インフォメーション(入場無料)

アクロス福岡クラシックセミナー

7/6 火

時間 11:00～12:30
会場 円形ホール(先着100名)
講師 野中囋亨(音楽評論家)
テーマ 長大作「ニーベルングの指環」の聴きどころ
内容 ワークナー

アクロス福岡フロアコンサート vol.277

7/1 木

時間 12:15～13:00
会場 コミュニケーションエリア
出演 曳地まり(フルート)
中川淳一(ピアノ)
曲目 シチリアーノ
カルメンより間奏曲 ほか

アクロス福岡フロアコンサート vol.278

7/15 木

時間 12:15～13:00
会場 コミュニケーションエリア
出演 松本亜土(ヴァイオリン)
田元真木(チェロ)
岡直美(ピアノ)
曲目 オブリビオン
G線上のアリア ほか

第3期 ミュージック☆ファクトリー vol.4
九州大学の学生とアーティストによる共同企画コンサート

7/27 火

時間 18:00～18:30
会場 コミュニケーションエリア
テーマ シャンソンの魅力を再発見
出演 荒木陽一、井上佳江(歌)
岩崎大輔(ピアノ)
曲目 枯葉、愛の讃歌
パリの空の下 ほか

アクロスレインボーコンサート
in 久留米

7/3 土

時間 18:30～20:00
会場 福岡県青少年科学館(コスモシアター)
出演 Karan(ヴィオラ)
田口悌治(ギター)、丹羽肇(ベース)
山部三喜男(パーカッション)
月岡翔生子(キーボード)
曲目 A列車で行こう、愛しのジョージア ほか

in 柳川

7/25 日

時間 14:00～15:00
会場 柳川市民会館
出演 安部あゆみ(フルート)
岡本眞(オーボエ)
原田純(ファゴット)、岡直美(ピアノ)
曲目 ヴィヴァルディ:コンチェルト
モーツァルト:セレナーデ ほか

「鰻のせいり蒸し」 — 柳川市 —



西鉄電車福岡(天神)駅から特急電車に乗って約45分。日帰りの小旅行に最適な柳川は福岡県内だけでなく海外からの観光客にも大変人気のスポットだ。

「水郷柳川」には縦横に走る掘割があり、のんびりとした川下りが楽しめる。どこ舟に揺られているとどこからともなく風が吹き、蒸し暑さも少し薄らぐようだ。川下りの船着場がある沖端には鰻屋が軒を連ねており、柳川名物鰻のせいり蒸しはそれぞれに秘伝の焼き方、味付けがあり伝統の味を守り続けている。堅めに炊いた



イラスト：山川順子

ご飯にたれをまぶして蒸し、香ばしく焼いた鰻の蒲焼きをのせて再度蒸すという手間ひまかけた絶品は、暑気払いに最適だ。鰻の蒲焼きといえば串を刺して焼くのが通じだが、柳川はかつて武士の町であったことから、刀で腹を切ったり串を刺したりする事を嫌ったのか、鰻は腹を切らずに背開き、しかも串に刺さずに鉄の格子の上に置いて焼くという。

また柳川には城下町として栄えた名残である歴史的建造物も多く、武家住宅として知られる「旧戸島家住宅」や旧藩主立花家の別邸であった「柳川御花」など、国指定名勝の庭園と併せて楽しめるので、ぜひ立ち寄っていただきたい。

(文化観光情報ひろば 伊藤加代子)

- ▶ 柳川市へのアクセス 西鉄電車福岡(天神)駅から 特急電車で約45分
- ▶ 観光についてのお問い合わせ先 柳川市観光課 TEL 0944-73-8111 柳川市観光案内所 TEL 0944-74-0891
- ▶ 柳川御花 柳川市新外町1 TEL 0944-73-2189 入場料 一般500円 高校生300円 小中学生200円 休館日 年中無休(年末年始除く)
- ▶ 旧戸島家住宅 柳川市鬼童町49番地3 TEL 0944-73-9587 入場料 一般(小学生以上)100円 ※北原白秋生家入館者は無料です。受付でチケットをご提示ください。 休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)
- ▶ 川下り乗合船料金 中学生以上1500円 小人800円

県内各地のオススメをアクロス福岡ホームページにてご紹介しています。文化・観光情報の「地域オススメ情報」をぜひご覧ください。 [地域オススメ情報](#) [検索](#)

文化観光情報ひろば

アクロス福岡2階の「文化観光情報ひろば」では、九州の芸術文化や観光に関する情報をチラシやパンフレットやビデオ等(常時約900種類)で提供しています。また、作品展や講座などのイベントも開催しています。文化と観光の交流拠点としてご利用ください。

提供情報

- 祭・イベント情報等 観光情報
- コンサート・美術展・演劇等 文化情報
- 文化活動・講座・募集情報 ほか

「福岡おでかけナビ」をご活用ください

福岡県を中心にコンサートやギャラリー、お芝居、講演会、お祭りなどのイベント情報とあわせて、開催される会場の詳細情報をホームページで提供しています。お出かけ情報としてご利用ください。

<http://acros-info.jp>

開館時間：10:00～18:00
TEL:092-725-9100 FAX:092-725-9102
E-mail: jyouhou@acros.or.jp

ボランティア通訳ガイド

福岡SGGクラブ



外国人の方々に福岡の見どころをボランティアで紹介しています。

窓口対応 11:00～17:00



竹を均等な厚さに削って竹ひごに



竹がばらばらにならないように固定する



まだら模様の元となる下地を塗る



絶妙な力加減を要する「研ぎ出し」

藍胎漆器とは、木ではなく、竹かご「藍」で作られた漆器のこと。竹細工の爽やかさと親しみやすさに、漆器の趣あるツヤと高級感が調和した県指定伝統工芸品です。江戸後期に久留米藩へ招かれた京都の塗物師が、元となる「久留米藩漆塗り」を考案したのが始まりと言われています。筑後川の水路を利用し、九州の良質な竹を取り寄せて作られました。現在、国産の竹を使用した藍胎漆器を製造しているのはわずか2社のみとなっています。

藍胎漆器の製造行程は、大きく「編み」「下地」「塗り」「研ぎ出し」の4つに分けられます。

穴の多い表面に砥の粉を隙間なく塗ったりするには、熟練の技が欠かせません。その後、漆の美しいツヤを出すため、漆を何度も塗っては磨き、塗っては磨きをくり返します。藍胎漆器の特徴であるまだら模様は、この磨きの作業でできるもの。漆を塗った竹かごをやすりで研磨することで、竹の編み目に沿って部分的に漆が剥がれ、下色が表面に浮かび上がることで生まれます。磨きすぎると下色まで剥がれてしまうので、力加減が難しく、また全体を均等な力で磨くのも高度な技術が必要です。

高級感溢れるツヤが人気の漆ですが、熱に弱いのが難点。そこで、近年では熱に強いウレタン系塗料を代用し、美しいツヤと利便性を兼ね備えた製品を生み出しています。また、洋食にも使える白の食器や、ラメ加工を施したアクセサリーなど、現代の生活空間に合う新しい漆器も増えてきました。久留米藍胎漆器には、受け継がれてきた伝統と、時代に合った進化が共存していると言えるでしょう。

問い合わせ先・見学先

末吉藍胎漆器製作所

九州産の真竹のみを使用した藍胎漆器を製造・販売。毎年、近隣の小学校で体験学習を行うほか、体験会も受け付けています(要予約)。
久留米市原古賀町29-13 TEL:0942-32-2669 <http://sueyoshirantai.nomaki.jp>



若者にも親しみやすいデザインも増えている

アクロス福岡2階の匠ギャラリーでは、今回ご紹介した久留米藍胎漆器をはじめ、福岡県を代表する民芸工芸品を常設展示するとともに、週替わりで企画展を開催しています。企画展の予定は14ページをご覧ください。

久留米藍胎漆器

竹細工と漆器、二つの職人技を継承。

福岡シンフォニーホール 1F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/2(金)	13:00 } 15:40	福岡県PTA連合会指導者研修会	拓こう！素晴らしい子どもの未来をテーマに、県下のPTAの役員を対象に、シンクロスイマー・武田美保さんの講演会で。	入場無料(関係者のみ) 福岡県PTA連合会事務局 ☎092-477-6077
3(土)	14:00 } 16:00	福岡学生シンフォニーオーケストラ 第7回定期演奏会	指揮／海老原光 曲目／ラフマニノフ：交響曲第2番 チャイコフスキー：イタリヤ奇想曲 グリーンカ：歌劇「ルスランとリエドミラ」序曲	¥1,000(6歳未満無料) 福岡学生シンフォニーオーケストラ ☎090-7501-6492(渡辺) 
4(日)	15:00 } 17:00	天神でクラシック シューマン・チクルス(第2夜)	ソロコンスス局谷泰朗のソロによるヴァイオリン協奏曲と晩年のシューマンの苦悩と闘争が聴かれる交響曲第2番。 「ゲノヴェーヴァ」序曲も楽しみに。	S:¥4,000 A:¥3,500 B:¥3,000 学生:¥1,500 九響チケットサービス ☎092-823-0101 
9(金)	19:00	ベルリン交響楽団	指揮／リオール・シャンパダール ピアノ／スタニスラフ・プーニン 曲目／ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」	S:¥11,000 A:¥8,000 B:¥6,000 C:¥4,000(学生 完売) アクロス福岡チケットセンター ☎092-725-9112 
10(土)	14:00 } 16:00	西区フィルハーモニーオーケストラ 第12回定期演奏会	指揮／水崎敬 曲目／チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」 ブラームス：ハイドンの主題による変奏曲 他	一般:¥1,500(当日券:¥1,800) 学生:¥1,000(当日券:¥1,200) 西区市民オーケストラを育てる会 担当:角谷 ☎090-6293-8637
11(日)	14:00 } 16:00	福岡OBフィル第32回定期演奏会	指揮／寺岡清高 ピアノ／谷本聡子 曲目／ドヴォルザーク：交響曲第7番 ドホナーニ：童謡の主題による変奏曲 他	一般:¥1,300(当日券:¥1,500) 高校生以下:¥500(当日券:¥700) 鹿埜 ☎090-7443-2876
12(月)	18:30 } 21:00	福岡ヌーヴォー巴里祭	フランスからスペシャルゲストとしてイブデュティユを迎え、昨年に続き催されるパリー東京ー福岡を結ぶ新しいシャンソンの祭典。	S:¥6,500 A:¥5,500 アミ・ド・シャンソン(代表 矢野美智子) ☎092-291-0152
14(水)	18:30 } 20:35	バレエの神髄	出演／ファルフ・ルジマトフ、吉田都、岩田守弘 他 演目／シェヘラザード(全幕) ライモンダよりグラン・パ・ド・ドゥ 他	S:¥12,000 A:¥9,000 B:¥6,000 C:¥4,000 ケー・ウエスト ☎092-714-2027 
15(木)	19:00 } 21:00	林英哲 アコースティックコンサート2010	出演／林英哲、英哲風雲の会 ゲスト／竹井誠(笛・尺八) 和太鼓ソリストの第一人者。 心に響く究極のライブパフォーマンス。	S:¥6,000 A:¥5,000 学生券:¥3,000 (当日座席指定・引換時要学生証) ビクニック ☎092-715-0374
16(金)	19:00 } 21:00	ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 福岡公演 2010	パナソニックグループがお届けする、気軽に楽しめるクラシックコンサート。 曲目／モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲5番イ長調 他	¥3,000(当日券:¥3,500)全席自由 (株)シアターネットプロジェクト ☎092-739-2318 
18(日)	13:00 } 15:30	SON・福岡設立15周年記念祝典& ミニコンサート	皆さんと一緒に祝う15周年です。祝典&ミニコンサートは、活動プログラム紹介と、JOY倶楽部・スペシャルゲストとの競演です。	入場無料(要整理券) スペシャルオリンピックス日本・福岡事務局 ☎092-741-0799
19(月・祝)	17:00 } 19:00	岩谷産業創業80周年記念コンサート N響「夏」2010福岡公演	指揮／マティアス・フスマン ピアノ／チョ・ヨンジン(第7回浜松国際ピアノコンクール優勝者) 演奏／NHK交響楽団 曲目／ショパン：ピアノ協奏曲第1番 他	S:¥7,000 A:¥5,000 B:¥3,000 NHKプラネット九州支社 ☎092-734-4421 
21(水)	19:00 } 21:00	九州交響楽団 第302回定期演奏会	定期初登場の宮本文昭と愛弟子・荒給理子によるファン待望の企画。交響詩「ドン・ファン」や「運命」交響曲はもちろん、モーツァルトの協奏曲もご期待ください。	S:¥5,000 A:¥4,000 B:¥3,500 学生:¥1,500 九響チケットサービス ☎092-823-0101 
22(木)	19:00 } 21:00	ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノリサイタル	2006年4ヶ月にわたるNHKスーパーピアノレッスン、ショパン編に出演大好評のルイサダのオールショパンリサイタルを存分にお楽しみください。(詳細は、P6を参照)	S:¥6,000 A:¥5,000 学生:¥1,000 Sペア:¥10,000 福岡音楽文化協会 ☎092-414-8306 
23(金)	19:00 } 21:00	陸上自衛隊第4師団 第35回 第4音楽隊定期演奏会	吹奏楽で聴くブラームスはいかがでしょう。息づかいが心をとらえます。そして今年は自衛隊創隊60周年。 ご安心を、私達が守ります。	入場無料(要整理券) 陸上自衛隊第4師団広報室 ☎092-591-1020(内)5245
24(土)	13:00 } 15:00	九州文化塾 7月度講演会(第4回)	講師／姜尚中氏 13:00～13:30(ミニコンサート) 13:30～15:00(講演)	会員のみ 九州文化塾事務局 ☎092-711-7536
25(日)	14:00 } 16:00	第24回 福岡コール・フェライン定期演奏会	「レクイエム」ジョン・ラター作曲、男声合唱「ウイーンわが夢の町」荒谷俊治編曲 他。 指揮／荒谷俊治、横田諭 ピアノ／川口耕平	一般:¥2,000 学生:¥1,000 三浦 ☎090-4995-2383
26(月)	19:00 } 21:00	第44回 九州サマー・フェスティバル 第1夜 (子どもにやさしいまちづくりネットワーク 支援コンサート)	海の日にちなみ、九州交響楽団と福岡の子どもたちによる「海のうた水の音楽」をお届けします。 (詳細は、P6を参照)	S:¥4,000 S親子:¥5,000(親1人・子1人(お子様追加1人¥1,500)) A:¥3,000 学生:¥1,500 福岡音楽文化協会内 九州サマー・フェスティバル協会 ☎092-414-8306 
28(水)	12:00 } 13:00	アクロス・ランチタイムコンサートvol.22 スウィングするリズムに哀愁のメロディ ～夏のフレンチ・スウィング・ジャズ～	出演／シ・デ・テッセ・スウィング(ギタートリオ) 法田勇虫(ギター)、幅しげみ(ピアノ) Yu-Ma(ヴァイオリン) (詳細は、P6を参照)	¥1,000(全席自由) アクロス福岡チケットセンター ☎092-725-9112 
31(土)	14:00 } 17:00	HAIR & FASHION LIVE2010	福岡美容専門学校の学生が繰り上げる業界も大注目のエキサイティングなヘアショーです！ 感動のステージをぜひ体感してください。	入場無料 福岡美容専門学校 ☎092-715-0017

12(月)

14(水)	18:30 ↓ 20:35	バレエの神髄	出演／フアルフ・ルジマトフ、吉田都、岩田守弘 他 演目／シェヘラザード(全幕) ライモンダよりグラン・パド・ドゥ 他	S:¥12,000 A:¥9,000 B:¥6,000 C:¥4,000 ケー・ウエスト ☎092-714-2027	
15(木)	19:00 ↓ 21:00	林英哲 アコースティックコンサート2010	出演／林英哲、英哲風雲の会 ゲスト／竹井誠(笛・尺八) 和太鼓ソリストの第一人者。 心に響く究極のライブパフォーマンス。	S:¥6,000 A:¥5,000 学生券:¥3,000 (当日座席指定・引換時要学生証) ピクニック ☎092-715-0374	
16(金)	19:00 ↓ 21:00	ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 福岡公演 2010	パナソニックグループがお届けする、気軽に楽しめるクラシックコンサート。 曲目／モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲5番イ長調 他	¥3,000(当日券:¥3,500)全席自由 (株)シアターネットプロジェクト ☎092-739-2318	
18(日)	13:00 ↓ 15:30	SON・福岡設立15周年記念祝典& ミニコンサート	皆さんと一緒に祝う15周年です。祝典&ミニコンサートは、活動プログラム紹介と、JOY倶楽部・スペシャルゲストとの競演です。	入場無料(要整理券) スペシャルオリンピックス日本・福岡事務局 ☎092-741-0799	
19(月・祝)	17:00 ↓ 19:00	岩谷産業創業80周年記念コンサート N響「夏」2010福岡公演	指揮／マティアス・フスマン ピアノ／チョ・ソンジン(第7回浜松国際ピアノコンクール優勝者) 演奏／NHK交響楽団 曲目／ショパン:ピアノ協奏曲第1番 他	S:¥7,000 A:¥5,000 B:¥3,000 NHKプラネット九州支社 ☎092-734-4421	
21(水)	19:00 ↓ 21:00	九州交響楽団 第302回定期演奏会 	定期初登場の宮本文昭と愛弟子・荒経理子によるファン待望の企画。交響詩「ドン・ファン」や「運命」交響曲はもちろん、モーツァルトの協奏曲もご期待ください。	S:¥5,000 A:¥4,000 B:¥3,500 学生:¥1,500 九響チケットサービス ☎092-823-0101	
22(木)	19:00 ↓ 21:00	ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノリサイタル 	2006年4ヶ月にわたるNHKスーパーピアノレッスン、ショパン編に出演大好評のルイサダのオールショパンリサイタルを存分にお楽しみください。(詳細は、P6を参照)	S:¥6,000 A:¥5,000 学生:¥1,000 Sペア:¥10,000 福岡音楽文化協会 ☎092-414-8306	
23(金)	19:00 ↓ 21:00	陸上自衛隊第4師団 第35回 第4音楽隊定期演奏会	吹奏楽で聴くブラームスはいかがでしょう。思つかいが心をとらえます。そして今年は自衛隊創隊60周年。ご安心を、私達「守ります」。	入場無料(要整理券) 陸上自衛隊第4師団広報室 ☎092-591-1020(内)5245	
24(土)	13:00 ↓ 15:00	九州文化塾 7月度講演会(第4回)	講師／姜尚中氏 13:00～13:30(ミニコンサート) 13:30～15:00(講演)	会員のみ 九州文化塾事務局 ☎092-711-7536	
25(日)	14:00 ↓ 16:00	第24回 福岡コール・フェライン定期演奏会	「レクイエム」ジョン・ラター作曲、男声合唱「ウイーンわが夢の町」荒谷俊治編曲 他。 指揮／荒谷俊治、横田諭 ピアノ／川口耕平	一般:¥2,000 学生:¥1,000 三浦 ☎090-4995-2383	
26(月)	19:00 ↓ 21:00	第44回 九州サマー・フェスティバル 第1夜 (子どもにやさしいまちづくりネットワーク 支援コンサート)	海の日にちなみ、九州交響楽団と福岡の子どもたちによる「海のうた水の音楽」をお届けします。 (詳細は、P6を参照)	S:¥4,000 S親子:¥5,000(親1人・子1人(お子様追加1人¥1,500)) A:¥3,000 学生:¥1,500 福岡音楽文化協会内 九州サマー・フェスティバル協会 ☎092-414-8306	
28(水)	12:00 ↓ 13:00	アクロス・ランチタイムコンサートvol.22 スウィングするリズムに哀愁のメロディ ～夏のフレンチ・スウィング・ジャズ～ 	出演／シ・デ・テッセ・スウィング(ギタートリオ) 法田勇虫(ギター)、幅しげみ(ピアノ) Yu-Ma(ヴァイオリン) (詳細は、P6を参照)	¥1,000(全席自由) アクロス福岡チケットセンター ☎092-725-9112	
31(土)	14:00 ↓ 17:00	HAIR & FASHION LIVE2010	福岡美容専門学校の学生が繰り広げる業界も大注目のエキサイティングなヘアショーです！感動のステージをぜひ体感してください。	入場無料 福岡美容専門学校 ☎092-715-0017	

※マークは(財)アクロス福岡主催・共催・協賛事業です。※マークのチケットは、アクロス福岡チケットセンターにてお取り扱いをしています。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、予めご了承ください。

セミナー室 1 2F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/4(日)・11(日) 18(日)・25(日)	10:00 } 12:00	聖書研究会	内村鑑三の流れを汲む無教会主義のキリスト教会。毎日曜日午前、新約聖書と旧約聖書の学びを続けています。78年の歴史ある集会。どなたでもどうぞ。 (詳しくは、福岡聖書研究会ホームページをご覧ください)	入場無料 福岡聖書研究会(秀村) ☎ 092-845-3634
5(月)・26(月)	9:30 } 12:00	ストレッチ手編み	ストレッチ編みは針に特長がありどなたが編んでも早くてきれいに出来ます。毎月第1・第3の月曜日に講習しています。見学してみませんか。(体験可)	入場無料 森本年枝 ☎ 092-608-6630
14(水)	10:00 } 12:00	しゅんこう和紙ちぎり絵教室	アクロス開館以来毎月一回。NHKの「趣味悠々」で紹介され絵心のない人でも制作できる和紙ちぎり絵教室です。生涯学習の仲間に入りませんか。講師養成コースもあります。	筑紙会 しゅんこう名誉講師 柳田まさ子 ☎ 092-511-1695
14(水)	13:30 } 15:00	茶花教室	季節の野の花で茶室の床の間から暮らしの空間まで広い範囲の現代の茶花を楽しめます。	入場無料 玉葉会 ☎ 0952-23-3413
25(日)	14:00 } 15:30	夏休み子ども企画 アクロス・文化であい塾	テーマ／夏休み子どもクラフト教室 ～楽しいゴム銃を作ってみよう～ 講師／和田洋介(こどものアトリエ・むたやま造形教室代表) 内容／「連射タイプ」のゴム銃を作ります。 (対象年齢:小学生(保護者同伴))	材料費: ¥800(要事前申込・先着20名) アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎ 092-725-9100

セミナー室 2 2F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/3(土)	14:00 } 15:30	アクロス・文化であい塾	テーマ／癒しの森を舞台に～森林セラピーとは～ 講師／吉弘拓生(うきは市農林・観光課) 内容／今話題の「森林セラピー」について楽しく紹介します。 (詳細は、P7を参照)	受講料: ¥500(要事前申込・先着70名) アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎ 092-725-9100
13(火)	14:00 } 15:00	食育の推進実践セミナー	子供に楽しい食育の実践 講師／牧平美恵(遠賀郡水善町立猪熊小学校 栄養教諭)	入場無料 (社)福岡県栄養士会 ☎ 092-631-1160
17(土)	13:00 } 16:00	子育て支援セミナー:第3回女性の身体を感じるセミナー	第3回になるアピカルと福岡県立大学佐藤教授によるセミナーです。妊娠中、子育て中の女性。ゆっくり自分の身体を見つめてみませんか?	¥1,500(託児¥500) 株式会社アピカル ☎ 0120-309-415
31(土)	14:00 } 15:30	福岡を知る!アクロス・文化カレッジ	テーマ／「沖ノ島の出土品から古代胸形族とヤマト王権」 講師／重住真貴子(宗像大社文化財管理事務局)	受講料: ¥1,000(要事前申込) アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎ 092-725-9100

交流ギャラリー 2F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/1(木)～4(日)	10:00～18:00 (最終日17:00まで)	博多人形伝統工芸士展	国指定卓越技能保持者や県無形文化財保持者を有する博多人形伝統工芸士会の作品展です。給付体験コーナーもあります。	入場無料(ただし、給付体験は教材費¥500) 福岡県伝統的工芸品振興協議会 ☎ 092-622-8780
8(木)～9(金)	8日10:00～18:00 9日10:00～17:00	TAKIMOTO Messe 2011 白色。夢もいろいろ。	瀧本は「装育」を通じて、身だしなみを育む事が夢を育む事と考え、学校が描くスクールライフデザインを学生服からお手伝いします。	入場無料 瀧本株式会社 福岡支店 ☎ 092-741-0864
17(土)～22(木)	10:00 } 18:00	アクロス福岡・夏休み子ども企画 ～科学のふしきを楽しもう!～サイエンス体験フェスタ	科学のおもしろさを実際に体験して感じてもらう、ワークショップ中心の参加体験型のイベントを開催します。 (詳細は、P7を参照)	入場無料 アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎ 092-725-9100
28(水)	13:00 } 16:00	美術・デザイン・映像・アニメ・マンガ・芸術学 進学相談会	大学入試に合格した作品を多数展示。当日会場に作品を持ってくると教授からアドバイスが受けられます。美術王にオレはなる!!	入場無料 (株)さんぽう 福岡支社 ☎ 092-436-3538
30(金)～8/3(火)	10:00～18:00 (最終日16:00まで)	大川伝統工芸展	伝統の技術を重んじながら手仕事で制作された大川彫刻・大川組子・大川総桐単弓・掛川や和家具等の伝統工芸品を展示します。	入場無料 大川伝統工芸振興会 ☎ 0944-87-0035

※マークは(財)アクロス福岡主催・共催・協賛事業です。※マークのチケットは、アクロス福岡チケットセンターにてお取り扱いをしています。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、予めご了承ください。

円形ホール 1F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/2(金)	19:00 } 20:20	天までとどけ大地の音 ～オカリナ、マリンバセタコンサート～	オカリナ奏者宮村将広、マリンバ奏者桂悠紀デュオコンサート。それぞれのソロ演奏と2人のコラボレーションによるコンサート。	¥2,500 Frank one(フランクワン)真弓 ☎ 090-4197-0900
6(火)	11:00 } 12:30	アクロス福岡クラシックセミナー	講師／野中園亨(音楽評論家) テーマ／長大作「ニーベルングの指環」の聴きどころ 内容／ワグナー	入場無料(先着100名) アクロス福岡チケットセンター ☎ 092-725-9112
11(日)	13:00 } 16:00	フィネス・マジシャンズ・クラブ 第20回発表会	アマチュアマジッククラブ、フィネスの発表会です。今回のゲストはカズ・カタヤマ師です。すばらしいマジックで楽しんでください。	入場無料(要整理券) フィネス・マジシャンズ・クラブ 岩佐重東務 ☎ 092-672-5093
15(木)	10:00 } 17:00	アルファビア秋冬展示会	株式会社チクマ・アルファビア発表2010～11年秋冬ユニフォーム新作コレクションのご紹介です。	入場無料 (株)チクマ ☎ 06-6222-3276
17(土)	14:30 } 16:30	逸脱クラシック・ユニット 「楓雅」室内楽コンサート	モーツァルトの影武者が語りつつ弦楽三重奏曲を演奏。出演は楓雅(TSUBAKI, Ayame, Sacra)と多田ひとみ。	¥2,000(当日券¥2,300) 事務局 ☎ 0940-36-1795
18(日)	①13:00～14:30 ②17:00～18:30	ファッションショー	野田部真由美デザインによる真美健康体操の生徒さん達をモデルに2歳から70歳までを対象とした秋物のファッションショーです。	¥1,000 野田部真由美ファッションショー ☎ 090-8916-6348
19(月・祝)	9:00 } 16:00	ナースによるアロマセラピーフェスティバル	からだを全部使って感じていただく、五感をいかしたアロマセラピーを考えてみました。皆様にお会いできるのを心待ちにしております。	¥3,000(当日券¥5,000)※小学生以下無料 日本アロマセラピー学会事務局 ☎ 048-594-9931
23(金)	18:30 } 20:30	日本を知る!アクロス・文化カレッジ	林田スマと学ぶ 日本の歴史と文化遊学講座 テーマ／女の立場から能を語る 講師／久貴弘能(能楽師)	¥1,500 (財)西日本文化協会 ☎ 092-713-6451
24(土)	19:00 } 21:00	真砂秀朗&ウォン・ウィン・ツァンコンサート エターナルトゥルース	真砂秀朗とウォン・ウィン・ツァン2人のアーティストによるコラボレーションアルバム「Eternal Truth」をご紹介します。	¥4,000(要整理券) 近藤時郎 ☎ 090-1876-7913
25(日)	9:30 } 16:00	永芳久子ピアノセミナー2010	2000年開講以来大好評のピアニストによる楽しい個人レッスン。上達される受講生の方々の演奏もお楽しみください。随時入講可能。	聴講無料 (株)オフィス・サムライカ ☎ 092-752-2880
27(火)	10:00 } 15:30	第9回河面朗読の会発表の集い	芥川龍之介「杜子春」等、日本の名作を1作品7、8人のグループで10作品群読します。耳で味わう文学のひとつときをご一緒にどうぞ。	入場無料 河面 ☎ 092-741-0663
28(水)～29(木)	10:00 } 16:00	夏の芸術教育学校・福岡大会 保育者のための講習会	28日／「子どもと保育者がつくるあそび・伝承あそび・表現あそび」 29日／「発達が気になる子どもとの関わり方と遊び」	¥8,000／1日 芸術教育研究所 ☎ 03-3387-5461

コミュニケーションエリア 1F

開催日	開催時間	催し物	内 容	入場料／お問い合わせ
7/1(木)	12:15 } 13:00	アクロス福岡フロアコンサート vol.277	出演／曳地まり(フルート)、中川淳一(ピアノ) 曲目／シチリアーノ、カルメンより間奏曲 他	入場無料 アクロス福岡チケットセンター ☎ 092-725-9112
15(木)	12:15 } 13:00	アクロス福岡フロアコンサート vol.278	出演／松本亜土(ヴァイオリン)、田元真木(チェロ) 岡直美(ピアノ) 曲目／オブリビオン、G線上のアリア 他	入場無料 アクロス福岡チケットセンター ☎ 092-725-9112
27(火)	18:00 } 18:30	第3期 ミュージック☆ファクトリー vol.4	テーマ／シャンソンの魅力を再発見 出演／荒木陽一、井上佳江(歌)、岩崎大輔(ピアノ) 曲目／枯葉、パリの空の下 他	入場無料 アクロス福岡チケットセンター ☎ 092-725-9112
30(金)～8/30(月)	10:00～18:00 (最終日16:00まで)	福岡デザイン専門学校学生作品展	様々な業界で活躍するデザイナーを目指して学ぶ専門学校生の驚きの実力とアイデアを盛り込んだグラフィック・イラスト・CG・インテリア等の作品を紹介します。	入場無料 アクロス福岡文化観光情報ひろば ☎ 092-725-9100

※マークは(財)アクロス福岡主催・共催・協賛事業です。※マークのチケットは、アクロス福岡チケットセンターにてお取り扱いをしています。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、予めご了承ください。

林英哲

アコースティックコンサート2010

2010年7月15日[木] 18:30 開場 19:00 開演

福岡シンフォニーホール

❖料 金 全席指定(税込) S席6,000円 A席5,000円 (S席・A席は当日500円UP)
学生券3,000円(当日座席指定・引換時要学生証) ※未就学児童のご入場はお断り致します。

❖発 売 所 ◎ピクニック(郵送販売) 092-715-0374
◎チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:102-588]
◎ローソンチケット 0570-084-008 [Lコード:88916]
◎e+ (イープラス) http://eplus.jp
◎ちけっとばーどソノリアプラザ店 092-716-8022
◎ちけっとばーど福岡バルコ店 (5F) 092-235-7223 [※店頭混雑時は電話にでられない場合があります。]

❖主 催 TVQ九州放送／ピクニック

お問合せ:ピクニック 092-715-0374 http://www.picnic-net.com



EITETSU HAYASHI
ACOUSTIC CONCERT
2010 in ACROS FUKUOKA

和太鼓ソリストの第一人者、林英哲。心に響くライブパフォーマンスが今…に…

Photo by S.Oguma

13 ACROS 2010. JULY

2010. JULY ACROS 12

ACROS Voice

ACROS's Voice

アクロスからのお知らせ

アクロス福岡が15歳の誕生日を迎えました！！

4月29日に満15歳の誕生日を迎えたアクロス福岡。
日頃ご愛顧いただいている皆様に感謝の気持ちを込めて開催した「アクロス福岡バースデーコンサート 安永徹・市野あゆみ&Friends」では、アーティストの方々からは“福岡シンフォニーホール”に賛辞のお言葉を、そして足を運んでいただいたお客様からは“バースデーコンサート”へのご好評をいただき、誕生日を終えることができました。

そして“アクロス福岡 開館15周年記念写真展 アクロスを彩った音楽家たち”。皆様ご覧になりましたか？
4月23日から7日間にわたり交流ギャラリーにて開催した写真展では、これまでに福岡シンフォニーホールのステージを華やかに彩ってきた音楽家たちの写真にサインを添えて大小約100点を展示した他、会場内では日替わりミニコンサートを開催しました。

写真展・お客様アンケートより

コンサート時では知ることのできない演奏家たちの感想やサインを見ることができてよかったです。(福岡市・10代女性)
一部、アーティストのコメントを展示いたしました。

懐かしい、当時の感動がよみがえります。演奏が聞けたのが嬉しい。もっと聞きたかった。(福岡市・40代男性)
過去の公演の一部をお楽しみいただける“試聴コーナー”を設置しました。

連日にわたり多種多様な曲目、及び生の演奏を間近に堪能できることは考えてもみなかった。“幸せ”な毎日でした。(福岡市・60代男性)
連日、足を運んでいただいたお客様ありがとうございました。



他にも貴重なご意見いただきました。今後の参考にさせていただきます。
○もっとミュージシャンの声を出してほしかった。聴衆はそれを耳にする事はごくまれだから。(大川市・40代男性)
○平日の昼間、このような催しはこれからもぜひお願いいたします。(福岡市・50代女性)

(財)アクロス福岡 情報誌「ACROS」7月号

編集発行／(財)アクロス福岡 文化広報グループ
〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1番1号
TEL:092-725-9115 URL <http://www.acros.or.jp>
発行日／2010年6月1日 発行部数／30,000部
印刷／(株)ゼンリンプリンテックス

◎(財)アクロス福岡
本誌掲載記事・写真等の無断転載及び複製はご遠慮ください。
※主催者の希望または、作成日の関係等によりここに掲載していないイベントもあります。また諸事情により掲載内容が変更になることがあります。ご了承ください。(2010年5月20日現在の情報です。)
※情報誌「ACROS」並びに財団法人アクロス福岡に対する皆さまのご意見・ご要望をお寄せください。

ACROSのネーミングはAsian Crossroads Over the Sea-Fukuoka(アジアのクロスロード福岡)を表しています。

管楽器専門ショップ

2010 春の管楽器フェア

5月1日(土)～6月20日(日)

修理工房 音楽教室 音楽企画

<http://www.cremona-gakki.com>

国内外の有名ブランドを厳選してお届けいたします

ピッコロ・フルート
クラリネット・サクソフォン
オーボエ・バスーン
トランペット・トロンボーン
ホルン・ユーフォニウム
チューバ etc

・地下鉄赤坂駅3番出口より徒歩2分
・昭和通り沿い あいれふ東口交差点

音楽といつも素敵な関係でいたい

クレモナ楽器

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目10-24
営業時間／10:00～19:00(日・祭日10:00～18:00)
定休日／水曜日 FAX 092-761-8382
☎092-713-5303 (代)
e-mail cremona@mx21.tiki.ne.jp

匠ギャラリー 2F 入場無料

お問い合わせ先 アクロス福岡文化観光情報ひろば
☎092-725-9100

開催日	開催時間	催し物	内 容
6/28(月)～7/4(日)	10:00～18:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)	用の美と創作の陶芸展 ーカルスト平尾台の自然とともにー	小倉南区平尾台山麓で作陶を続けて30年。石灰石をイメージしたオブジェや、四季の草花を手書きにした心温まる器など作品300点を展示販売。期間中、手びねり実演を行います。
5(月)～11(日)	10:00～18:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)	和布に魅せられて	七夕飾りや山笠の作品をちりめんや押絵(おきあげ)で制作しました。童心に帰って楽しめる企画展です。作品点数80点を展示販売。期間中、小物押絵の実演を行います。
15(木)～18(日)	10:00～18:00 (最終日16:00まで)	小石原焼血山窯元五人展 ～若手作家による伝統美～	小石原焼発祥地血山の若手作家5人による伝統の美をご覧ください。日常品から装飾品にいたる新作約500点を展示販売します。期間中、ロクロ実演を行います。(詳細は、P7を参照)
19(月・祝)～25(日)	10:00～18:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)	世良彰彦作陶展	従来の上野焼ではなく、日展会友として美術展、陶芸展に出品しているオリジナルの器を中心に作品約300点を展示販売します。期間中、手びねり等の実演を行います。
26(月)～8/1(日)	10:00～18:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)	筑前小石原焼 太田富隆作陶展 20th anniversary year 花の香る器展	今年は作陶を始めて20年目の節目の年になりました。気持ちを新たに制作した作品200点を展示販売します。期間中、ロクロ実演を行います。(11:00、13:00)

ホワイエ 2F 入場無料

お問い合わせ先 アクロス福岡文化観光情報ひろば
☎092-725-9100

開催日	開催時間	催し物	内 容
6/28(月)～7/4(日)		カテドラルウインドウ パッチワーク教室作品展	教室の講師・深堀道子氏の遺作と生徒達の作品展。 花柄を中心とした優しい色づかいが特徴のボルチモアキルトやベットカバー、ヘビーキルトなどを展示します。
5(月)～11(日)		My eyes 3	“目”の形をモチーフにした油絵の作品展。目＝心の目というテーマで心の中に浮かんでくる自分の感情を草や花やその他のもので表現しました。
12(月)～18(日)	10:00 ～ 18:00 (最終日16:00まで)	涼風に立ちどまって	韓国の夏用チマチョゴリの布や絹に手描き染めした扇子やタペストリーを約50点展示します。作品から涼しさをお届けします。
19(月・祝)～25(日)		のんびり島散歩展	絵を描くことで知り合った二人が共通して大好きな「島」をテーマにした作品展。一人は水彩画でハワイを、一人は切り絵で屋久島を表現しました。
26(月)～8/1(日)		第11回「木曜会」作品展	西日本写真協会福岡支部(木曜会)の写真展。支部は11年目を迎え、今回の作品展では、各自が1年間撮りためた国内外の作品を29点展示します。

※(A)マークは(財)アクロス福岡主催・共催・協賛事業です。※(※)マークのチケットは、アクロス福岡チケットセンターにてお取り扱いをしています。諸事情により記載内容が変更になることがありますので、予めご了承ください。

フランスを代表するピアニスト、NHKピアノ・スーパーレッシン、ショパン賞に4ヶ月にわたって出演。ショパンと言えば「ルイサダ」です。

ジャン＝マルク・ルイサダ ピアノリサイタル

Jean-Marc LUISADA Piano Recital

Program ●フォーレ:夜想曲/第11番 嬰へ短調 Op.104-1・第2番 口長調 Op.33-2・第6番 変ニ長調 Op.63
●ショパン:バラード/第1番 ト短調 Op.23・第2番 へ長調 Op.38・第3番 変イ長調 Op.47・第4番 へ短調 Op.52
●シューマン:蝶々(パビヨン) Op.2 ●ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ボロネーズ 変ホ長調 Op.22

2010.7/22(木) 19:00 開演 (18:00 開場) 福岡シンフォニーホール (アクロス福岡内)

全席指定／S席¥6,000 A席¥5,000 学生¥1,000 (当日指定券と引換 ※要学生証) S席ペア¥10,000 ※未就学児見守【6歳未満】の入場不可

チケット発売所 ●アクロス福岡チケットセンター TEL 092-725-9112
●福岡音楽文化協会 TEL 092-414-8306 (店頭販売・電話予約)
●チケットぴあ TEL 0570-02-9999 (Pコード 100-070) (電話予約) (店頭販売・チケットぴあ)
●ローソンチケット TEL 0570-084-008 (Lコード 88257) (電話予約) (店頭販売・ローソン)

お問合せ先 福岡音楽文化協会 ☎092-414-8306
<http://www.fonkyo.jp>
E-mail : fonkyo@violin.ocn.ne.jp (9:30～17:30)
福岡音協 検索